



ツエーゲン金沢

子どもの未来を応援する活動 1/2



Story

11/1(日)北九州戦にて、金沢星稜大学地域スポーツマネジメント研究室との共同事業として、「子どもの未来を応援する活動」を実施しました。

■本活動の背景および趣旨

2020年4月、「コロナ禍でフードバンクへの食料需要が急増し在庫が急減している」との記事を読み、クラブとしてできることを考えた結果、クラブグッズの「ゲンゾイヤーカーレー(レトルトカレー)」をNPO法人いしかわフードバンク・ネットへ100個寄贈しました。その後、トップチームの廣井選手からも、クラブの寄贈活動を受けて「子ども達のためにできることをしたい！」との相談があり、趣旨に賛同した選手有志達(以後、フードバンカーズ)でお金を出し合い、パートナー企業から店頭で陳列できなくなった食料品を購入してフードバンクに寄贈する、という活動を毎月実施することとなりました(同年7月より継続)。本活動は、こうして広がった支援の輪をさらに広げたいという想いと、貧困問題等子どもたちを取りまく環境についてサポーターの皆さんの理解を深め、その未来について考えてもらいたい、という想いから、金沢星稜大学地域スポーツマネジメント研究室と共同で企画・立案する運びとなりました。

■実施企画

①ひとり親家庭を対象とした試合観戦ツアー開催

スタジアムでのサッカー観戦を楽しんでもらいたい！という想いから、10家族30名程度のひとり親家庭の皆様を観戦にご招待。試合前には、ピッチ上にて星稜大生とお子さん達でのスポーツ教室を開催。また、スタグルで使用できる飲食割引券と応援グッズ、フードバンカーズのサイン色紙をプレゼントしました。

②フードドライブ窓口の設置

クラブとして初めて、ホームゲーム会場にフードドライブ窓口を設置。事前にクラブ公式SNSにて食品寄贈の呼びかけを行ったところ、当日は162.2kg(小型バン1台分)もの飲食物品の寄贈がありました。

③「子どもの未来を応援する活動」啓発ブース出展

子ども達を取り巻く環境(貧困問題等)や、それに対しての金沢市の取り組み、子どもたちの居場所としての「子ども食堂」を紹介。本ブースに展示した「子ども食堂」「フードバンク」に関しての説明資料は、関係者へのインタビューをもとに金沢星稜大生が手作りで作成しました。また、ブースに立ち寄った方には子ども食堂に関する意識調査(認知度やイメージなど)も実施しました。

■協働者の役割

ツエーゲン金沢:企画、場の提供、情報発信

金沢星稜大学:各ブース・イベントの準備・運営

フードバンカーズ:フードドライブ告知協力、飲食券&グッズ購入等の費用負担

石川県および金沢市母子寡婦福祉連合会:ひとり親世帯への情報発信

NPO法人いしかわフードバンク・ネット:フードドライブブース運営

金沢市子育て支援課:啓発ブース運営協力

かなざわっ子niconico倶楽部(子ども食堂):企画への助言、啓発ブース運営協力

■本企画を実施するうえでの苦労

企画立案前に学生メンバーと一緒に、いしかわフードバンク・ネット、金沢市子育て支援課、かなざわっ子niconico倶楽部に事前インタビューを実施。その結果、主催者である自分達が本活動の意義を十分理解できたと思います。また、どんな企画であれひとり親世帯の皆さんが参加しやすいか、理解を深めて企画に反映させることができました。

■参加者の声

- ・試合前にお兄さん達と一緒に遊べて楽しかった(お子さん)
- ・家に帰ってからも話が尽きず本当に楽しい一日だった(保護者)
- ・食料品を寄贈したい気持ちはあったが、常設フードドライブに行くハードルが高かったので…やっと協力できて嬉しい！(サポーター)

■協働者の声

- ・子供たちの笑顔を見ることができてよかった。継続的なイベントになってほしい(金沢星稜大学)
- ・一会で集まった食料品として、これまでと比較にならない量を寄贈いただけて本当に嬉しい(いしかわフードバンク・ネット)
- ・ブースに立ち寄ったサポーターが多く、クラブの発信力の強さを感じた(金沢市子育て支援課)
- ・フードバンクや子ども食堂の認知度向上につながった(子ども食堂)

■活動後の変化と今後

昨年4月の記事をきっかけとした一連の活動を通じて、子どもの貧困問題やフードバンク・ドライブに対しての関心を高めることには貢献できたと思っています。フードドライブへの寄贈量の多さが、関心度の高さを物語っていますし、サポーターからも「試合会場で定期的にフードドライブを開催してほしい」との声をもらいました。今後はこの活動を継続するだけでなく、子どもの貧困問題を起因とする他の地域課題に対しても、地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいです。



ツエーゲン金沢

子どもの未来を応援する活動 2/2



活動詳細情報はこちら



<http://www.zweigen-kanazawa.jp/news/p4135.html>

活動場所

石川県西部緑地公園陸上競技場

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

NPO、学校、行政

協働者名

金沢星稜大学スポーツ学科地域スポーツマネジメント研究室、
石川県母子寡婦福祉連合会、金沢市母子寡婦福祉連合会
NPO法人いしかわフードバンク・ネット、
金沢市子ども未来部子育て支援課、
かなざわっ子niconico倶楽部

